



国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「ロータリーはあなた自身から」  
— You are the key —

高田ロータリー今年の  
スローガン

「友情を深め合い、  
ロータリーを楽しく！」



2014～2015年度

国際ロータリー会長 **ゲイリー C.K. ホアン**  
2560地区ガバナー **佐々木昌敏**  
高田ロータリー会長 **齋藤 尚明**  
幹事 **牧野 章一**

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
小柳 勝司 佐藤 憲二 石田 誠夫 澤井 祥典  
大島 誠 堀井 靖功 永井 謙

## 第29回例会 ■ 2月6日(金)

No.27

### 会長挨拶 ● 齋藤 尚明

皆さんこんにちは。第29回例会です。

おととい2月4日は立春でした。例年ですと『春は名のみ』という感じで天気が悪いことが多いのですが、今年はとても暖かく春近しを思わせるいいお天気でした。そのうえ4日は満月で月もとてもきれいでした。立春と満月が重なってしかも良く晴れてよく見えるのは珍しいことらしいです。

このまま春になってくれればと思うところです。

きょうはこれで終わって皆さんにゆっくりお昼を召し上がって頂こうと思っていたのですが、昨日牧野幹事が『会長、明日この話をぜひして下さい!』と強く言われましたのでもう少しお話をさせて頂きます。

その話とは、何々家という家“か”という言葉のことです。例えば私なら陶芸家と呼ばれますし、皆さん方は企業家と呼ばれる方が多いでしょう。勿論社長という呼び名の方が普通でしょうが、とにかくその家というのはどういう意味かと聞かれました。

正確を記す為に4冊程辞書にあたりました。いろんな意味があるのですが、『一つの職業に通じた人』、『一つの事柄についてすぐれた人』というあたりが代表的で、例えば作家、画家、書家、音楽家、専門家、企業家あたりがよく使う“家”の代表的なものでしょう。

似たような言葉で『師』という言葉があります。師匠の師ですが、こちらはもっと狭い意味での専門的な人を指す言葉だと思います。藤林先生は医師でいらっしゃるようですが、教師や薬剤師などあります。山師とか詐欺師なんてのもあります

ね。

いずれにしても言葉というのはちょっと調べてみるといろんなことが見えてきて仲々面白いものです。

本日の卓話は新井ロータリークラブの佐藤明臣さんです。今月は国際交流月間ということで国際交流についてお話して頂きます。よろしくお祈りします。

### 出席報告

出席率 100%

### メイクアップ

大島精次君・東山昕也君（1/28(水)臨時地区諮問委員会）

久保田 健君（2/7(土)第2回米山奨学委員長セミナー）

東山昕也君（2/8(日)地区諮問委員会・地区運営会議）

### セレモニー

米山記念奨学生阿栄さんへ 米山奨学金寄贈  
新会員スポンサーバッチ贈呈（佐々木ガバナーより）

本山秀樹君・大谷光夫君・宮澤英文君・齋藤尚明君

### 委員会報告

親睦委員会

会員お誕生日 各お祝い

オークションのPR

大谷ガバナー補佐

3/21第7分区分交流会のご案内

## 幹事報告

配布物：週報No.26、R財団及び米山奨学寄付金領収書

回覧物：新会員推薦申込カード（2名）

ガバナー月信2月号、R財団NEWS、高田駐屯地会報「妙高1号」

報告：高田RAC定例会変更のお知らせ（第1・3(木)→第2・4(木)へ）

## 卓話 上越教育大学留学生との国際交流報告

新井ロータリークラブ 国際奉仕委員長 佐藤 明臣 君



本日の卓話は、新井RC国際奉仕委員長の佐藤明臣さんをお迎えし、「上越教育大学留学生と地域住民との米に関わる1年間の交流活動」をスライドショーと併せてご報告いただきました。（高田クラブの米山奨学生アロンさんも参加されました。）

主な実施スケジュールは下記の通りです。

### ① 5月31日(土)

杉野沢地域住民との田植えと伝統芸能「春駒」についての説明会に参加。また、田んぼでおにぎりを作り昼食とした。

### ② 6月28日(土)

杉野沢地区郷土料理の笹寿司作り体験と杉野沢地域（苗名の滝、いもり池）の散策。

### ③ 10月18日(土)

杉野沢地域住民との稲刈りと稲の天日干し体験。

### ④ 11月29日(土)

米粉を使用したピザ作りとお礼の会（留学生の母国の踊り等）実施。

### ⑤ 12月17日(木)

学内発表会

### ⑥ 留学生の感想文をまとめ、杉野沢地区住民に送付。

佐藤さんは、この活動を通じて地区の特色を生かした交流がアジア諸国、世界に広まり大勢の留学生が楽しみに日本に来てくれること、そしてこのプロジェクトに参加した留学生たちの世界が広がることを願い、またインターアクター育成の一助になればと話されておりました。



杉野沢地域住民との田植え



伝統芸能「春駒」



郷土料理「笹寿司作り」



「苗名の滝」散策



稲刈り



天日干し



ピザ作り



学内発表会